

令和6年度 第2回 萩・長門清掃一部事務組合環境管理委員会 会議概要	
1. 開催日時	令和7年3月3日(月) 14時から15時30分
2. 場所	萩・長門清掃工場管理棟 2階大会議室
3. 出席者	<p>【委員】 上田委員、金子委員、口羽委員、藤原委員、古見委員、椿委員 藤家委員、坂本委員、橋本委員、杳野委員、古屋委員、湯野委員 長井委員、伊藤委員、小野委員、岩崎委員、木村委員</p> <p>【一部事務組会構成市】 萩市環境衛生課長、同主幹、長門市生活環境課長、同課長補佐</p> <p>【オブザーバー】 阿武町健康福祉課主任主事</p> <p>【清掃工場運営事業者（株）はないろ】 運営所長、所長補佐、副所長、日立造船担当部長代理</p> <p>【組合事務局】 中村、山下、細田、厚東、齊藤</p>
4. 内容	<p>○議事 (1) ごみ搬入量及び焼却ごみ量について (2) ごみ質及び排ガス測定結果について (3) 搬入ごみ展開検査結果について (4) 見学来場者数について</p> <p>○報告 (組合関係) (1) 組合議会令和7年1月定例会管理者報告事項 (2) 焼却炉改修に伴う場外搬出について (3) 不燃・粗大ごみ等処理施設及び最終処分場整備に係る候補地選定の進め方について</p> <p>(はないろ関係) (4) (株)はないろの地域貢献活動について ・わくわく新エネルギー実験教室「フルーツ電池をつくってみよう」 ・搬入道路環境美化活動（河津桜復活プロジェクト）</p>
5. 会議内容	<p>○議事・報告 事務局から添付資料の内容を説明し、全ての事項について了承。 <議事(1)の質疑> 委員：固化飛灰の溶出試験の実施や処分先は。 組合回答：環境省告示に基づき、毎年9月に検査機関に委託し溶出試験を行い、大井不燃物埋立処分場で処分している。</p>

<議事(2)の質疑>

委員：ごみ質物理的組成のその他とは何か。

組合回答：孔眼寸法約五 mm のふるいを通したもので、概ねは紙、木、厨芥等の可燃物が細かくなったものであり、その他は砂利など。

<議事(3)、議事(4)>

質疑なし

<その他の質疑>

委員：他施設でのリチウムイオン電池の発火事故のニュースがある。施設での対応はどうか。

回答：焼却施設でこれまでのところ、幸いにも発火はない。大型切断機で強い圧力により発火する場合があるので、リチウムイオン電池等の不適物の混入をさせないように、こまめに確認をしている。

市回答：市の施設では、有害ごみは専用ボックスで回収をおこなっている。電化製品に含まれる電池は、全て手作業により分別を行っているのが現状。

委員：周知が必要では。

市回答：引き続き注意喚起をしていく。委員の方にもご協力を願いたい。

委員：やはり、ごみの分別しかないのかな。分別もまようことが多々ある。思い込みで出すことがあるのではないか。実際に分別をするなど、体験型の学習はどうか。

市回答：出前講座を行っているので、遠慮なく要請をお願いしたい。